

事業所向け 放課後等デイサービスにおける自己評価

公表日

2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個別教室と集団活動などに応じて、児童が利用するスペースを分けています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・自閉症の児童が多いため、常勤職員に加え、非常勤職員の配置も増やしています。 ・繁忙期への対応にとどまらず、言語支援や感覚統合など、専門的なサポート体制の強化を図っています。また、パート職員に対する教育制度も充実させています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・段差マットの追加設置を行い、安全面に配慮しています。また、中国語の児童に対応するため、中国語のピクトグラムも設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・教室の掃除は、毎日専門の業者に依頼しています。 ・職員も毎日、テーブルやおもちゃなどのアルコール消毒を徹底しています。 ・子どもたちの活動内容に応じて、スペースを適切に分けています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別の着替えやクールダウンが必要な場合には、利用できる個室を用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・業務を行う上で気になる点が出てきた際には、月1回のミーティングのほか、必要に応じて職員間で随時話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価表を通じて、保護者の皆様のご意見やご要望を把握する機会を設けており、その内容を業務の改善につなげられるよう日々努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々のカンファレンスや月1回のミーティングに加え、グループチャットを活用して日常的に意見交換や情報共有を行い、必要に応じて対策の検討も行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・顧問の先生からの評価をもとに、業務の改善に取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修には積極的に参加しています。 ・研修後には「学びの共有シート」を記入し、職員全体でフィードバックを共有しています。 ・月1回の事例検討会を通じて、支援内容の質の向上を図っています。 ・発達障害支援専門の外部講師を招いた研修も開催。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムをインターネット上で公開しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・個別のアセスメントを行い、利用者の発達状況や課題、保護者のご意向を踏まえた支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもたちの普段の様子を職員間で情報共有し、課題に応じた支援方法を継続的に検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画は職員間で共有されており、日々の記録もあわせて適切に情報共有を行っています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたツール（例：クリスピー-d d、P V T - R など）を用いたフォーマルなアセスメントに加え、日々の行動観察や職員の記録をもとにしたインフォーマルなアセスメントも活用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・「本人支援」や「移行支援」において、発達の5領域に基づいたアセスメントを行い、子どもの特性や発達段階に応じた具体的な支援内容を計画的に設定しています。支援内容は、日々の記録や職員間での共有を通じて見直し、柔軟に調整することで、効果的な支援につなげています。「家族支援」や「地域支援・地域連携」についても、必要に応じて個別に計画を立て、保護者と関係機関との連携により支援体制の構築を図っています。	・家族支援や地域支援・地域連携については、全てのケースにおいて一律に計画されているわけではなく、必要性の判断にばらつきが出るのが課題の一つです。また、支援内容が一部抽象的になりがちな場合があります。より具体性と実行可能性を持たせる工夫が必要です。さらに、地域の関係機関との連携については、情報共有の機会が限られていることもあり、日常的な連携の仕組みづくりや、地域資源の把握・活用に向けた取り組みの強化が求められます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは、職員が分担して協力しながら、全員で作り上げるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子どもの特性や状況に応じて、曜日ごとに異なるプログラムを提供しています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの発達段階に応じて、個別および集団場面での課題を的確に把握し、個別支援計画に反映させています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日カンファレンスを行い、その日の支援内容や役割分担を確認することで、利用者の状況や変化について職員全員が共有できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎後にはグループチャットを活用し、保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を共有して情報交換を行っています。翌日のカンファレンスでは、職員間でその情報をもとに話し合い、さらに情報共有を深めるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・職員間で共有した内容をもとに、日々の記録を写真付きで保護者に共有し、支援の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度モニタリングを実施し、支援内容の見直しを行っています。保護者に対しては、可能な限り面談の機会を設け、学校や他事業所での様子も共有しながら、個別支援計画の目標や内容を見直し、再作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせずて支援を行っているか。	○		・ガイドラインに基づいて児童の発達状況や課題を的確に把握し、「4つの基本活動」を適切に組み合わせずて支援を実施しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・安全に配慮したうえで、日々の療育プログラムに加え、自由活動の時間には子どもたちの「やりたいこと」を聞き、選択させることで、それぞれに合った活動を取り入れ、自己決定を大切に支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・必要に応じて、会議の趣旨や内容を的確に理解した職員が参画し、適切な意見交換を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関と連携しながら、子ども一人ひとりに応じた支援を進めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校の行事予定や下校時刻、送迎時の対応については、主に保護者の方との情報共有を通じて把握しています。また、必要に応じて学校のホームページ等でも確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・保護者の方から保育所との連携を依頼された場合には、実際に保育所を訪問し、情報共有を行っています。	・今後必要に応じて、こちらから積極的に保育所等との連携を図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	・現時点では該当する事例はありませんが、今後対象となる方がいらっしゃった場合には、これまでの支援内容等について情報提供を行っていきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・地域の児童発達支援センターが開催する研修会等に積極的に参加し、専門性の向上に努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		・今後、必要性が生じた際には、適宜検討を行っていく予定です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	・（自立支援）協議会等へ積極的に参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・HUGを通じて日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも随時、活動の様子やお子さまの状況についてご報告し、情報共有を行っています。 ・また、定期的に保護者との面談の機会も設け、支援方針やお子さまの成長について共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・保護者の理解と関わりを深めることを目的に、少数制のペアレント・トレーニング等を実施しています。	・今後は、可能であれば対象範囲を拡大したペアレント・トレーニングの実施についても検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に、運営規定・支援プログラム・利用者負担額等について丁寧に説明を行い、ご質問があった場合にはその場で対応しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・契約時に、本人および保護者のニーズや意向を丁寧に把握し、それに基づいた個別支援計画を作成しています。さらに、定期面談等において新たなニーズが確認された際には、都度支援内容の見直しを行い、柔軟に対応しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・保護者との面談を通して支援内容等をご説明し、同意を得たうえで署名をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて面談以外にも、電話やチャット等を通じて随時相談を受け付けており、ご相談内容に応じて適切な支援方法を提案しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・これまでに父母の会やきょうだい同士の交流の機会は設けていませんが、今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・契約時に苦情に関する相談窓口を明示し、苦情が寄せられた際には速やかかつ適切に対応できる体制づくりに努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・行事予定や活動内容の概要については、主にHUGおよびチャットにて保護者へ情報発信を行っています。	

非常 時等 の対 応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報を含む書類等については、すべて鍵付きの 書庫にて厳重に保管しています。 ・廃棄の際は、ゴミ箱ではなくシュレッダーを用いる ことで、適切な情報管理に努めています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のため、視覚的支援、個別面談や連絡帳、ICTを活用 した連絡ツールなど配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現在、地域住民を対象とした行事の開催は行ってお らず、今後は地域とのつながりを深めるために、地域 交流の機会を積極的に設けていく必要があります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニ ュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実 施しているか。	○		・各マニュアルを策定したうえで、定期的に研修を実 施し、職員への周知と理解の促進に努めています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCP（事業継続計画）を策定し、定期的に避難訓練 などの実施を通じて、防災体制の強化に努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・投薬などが必要な子どもについては、保護者と状況 を共有し、確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている か。	○		・現時点では、対象となる利用者はおりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等 、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			・安全計画に則って、職員への研修や避難訓練等を実 施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく 取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		・今後、契約時および面談時には、非常時の対応につ いてさらに詳しく説明していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしてい るか。	○		・ヒヤリハット事例や事故報告書を作成し、職員間で 情報共有を行ったうえで、原因や再発防止策について 協議し、周知徹底に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・マニュアルを作成し、保護者には『重要事項説明書 』に記載のうえ、個別にご説明を行っています。また 、園内研修も実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子ど もや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか。	○		・当施設では、身体拘束は一切行っておりません。	